

受験番号	氏名

令和8年度

神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

適性検査Ⅰ

(45分)

——— 注 意 ———

- 「はじめ」の合図があるまで、この検査用紙を開いてはいけません。
- 問題は **問5** まであり、1ページから9ページに印刷されています。
- 問題と **解答用紙** の **注意事項** をよく読んで、答えはすべて **解答用紙** の決められた欄に書きましょう。解答欄の外に書かれていることは採点しません。マーク欄をぬって答える場合は、選んだ番号の ○ の中をぬりつぶします。
- 解答用紙** には、表と裏の両面に氏名と受験番号を書きましょう。
- 字数の指定がある問題は、指定された字数や条件を守り、ていねいな文字で書きましょう。次の〔例〕のように、横書きで、最初のマスから書き始めます。段落をかえたり、マスの間をあけたりしないで書きます。文字や数字は1マスに1字ずつ書き、文の終わりには句点〔。〕を書きます。句読点〔。、〕やかっこなども1字に数え、1マスに1字ずつ書きます。

〔例〕

1	2	月	の	詩	の	テ	ー	マ	は	
、		「	冬	の	朝	」	だ	っ	た	。

- 計算などをするときには、**解答用紙** ではなく、この検査用紙のあいているところを使いましょう。
- 「やめ」の合図があったら、途中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問1

たろうさんたちは、昔の通信について話しています。次の【会話文】を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

【会話文】

たろう 「校外学習で、横浜にある『電信創業の地』の石碑を見ました。電信とは電気のはたらきで遠い所と通信することで、創業とは事業を始めることですね。」

かなこ 「はい。創業時に使われた【ブレゲ電信機】のことを、【電信の創業】をまとめているときに知り、さらにくわしく調べました。」

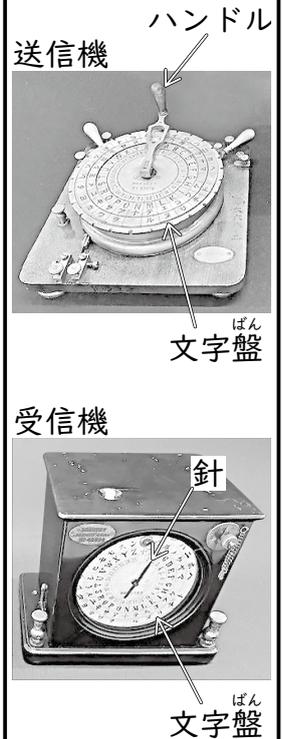
じろう 「【ブレゲ電信機】の送信機と受信機の文字盤には、同じ配置で同じ文字が書かれています。送信機のハンドルを回して、送りたい文字の位置で止めると、受信機の針も同じように動いて止まります。」

ひかり 「そのようにして、文字を送っていたのですね。ところで、文字盤にはわからない文字もありますね。」

かなこ 「はい。そこで、自分たちがわかりやすいように工夫して【図】の文字盤をつくり、その使い方を【方法】にまとめました。」

たろう 「この文字盤を使って文字の送り方を考えましょう。」

【ブレゲ電信機】



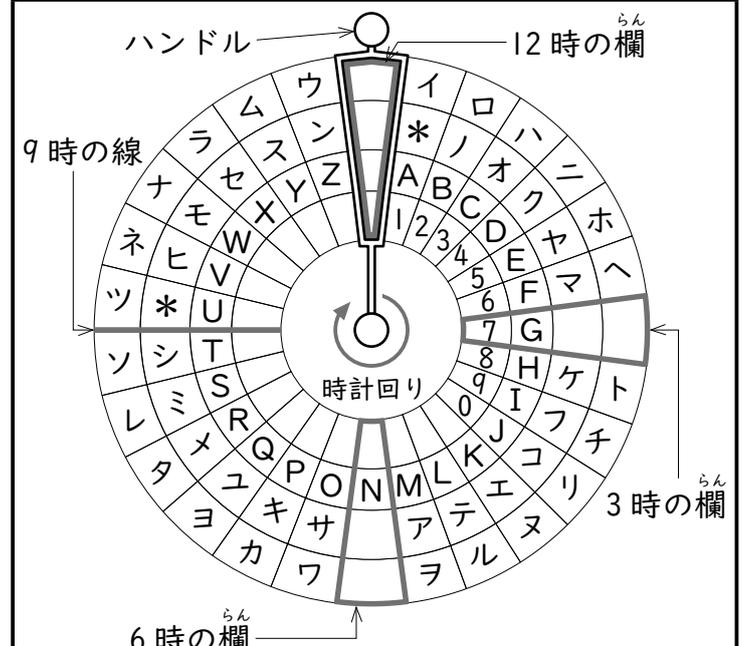
【電信の創業】

江戸時代の末にペリーが来航した際、横浜で電信の実演が行われました。しかし、このとき使われた電信機は、日本の電信の創業時には使われませんでした。

明治2年の8月、横浜の灯明台役所と横浜裁判所の間電線が敷かれ、イギリスから招かれた電信技師によって、電信の実験が行われました。ここで使われた【ブレゲ電信機】は、操作は簡単でしたが、1分間に4～5文字しか送ることができませんでした。

同じ年の12月、今度は横浜裁判所と東京の築地運上所の間電線が敷かれ、日本における実用的な電信事業が、【ブレゲ電信機】を使って始められました。

【図】 工夫した送信機の文字盤



段	書いてある文字
1 段め	イ、ロ、ハ、…、ウ
2 段め	*、ノ、オ、…、ン
3 段め	A、B、C、…、Z
4 段め	1、2、3、…、0

- ・【「ゝ」「ゞ」がつく文字】
→つかない文字にする。
- ・【「ッ」「ヤ」「ユ」「ヨ」】
→「ツ」「ヤ」「ユ」「ヨ」にする。
(例) バシヨ→バシヨ
- ・*は使わない。

[方法]

- ・ [図] の送信機のハンドルは、最初、12時の欄^{らん}で止めてある。
- ・ ハンドルは時計回りにしか回すことができない。
- ・ 最初の文字を送るときは、12時の欄^{らん}からハンドルを回し始め、次の(a)～(d)いずれかのハンドル操作をする。
 - (a) 1段め「イ、ロ、ハ、…、ウ」を送る場合は、そのままハンドルを回し、送りたい文字の位置で止める。
 - (b) 2段め「ノ、オ、…、ン」を送る場合は、3時の欄^{らん}までハンドルを回し、いったん止める。さらにハンドルを回し、送りたい文字の位置で止める。
 - (c) 3段め「A、B、C、…、Z」を送る場合は、6時の欄^{らん}までハンドルを回し、いったん止める。さらにハンドルを回し、送りたい文字の位置で止める。
 - (d) 4段め「1、2、3、…、0」を送る場合は、あらためて12時の欄^{らん}までハンドルを回し、いったん止める。さらにハンドルを回し、送りたい文字の位置で止める。
- ・ 2文字め以降で、前の文字とちがう段の文字を送るときは、まず12時の欄^{らん}までハンドルを回し、いったん止めてから、(a)～(d)いずれかのハンドル操作をする。
- ・ 2文字め以降で、前の文字と同じ段の文字を送るときは、そのままハンドルを回し、送りたい文字の位置で止める。
- ・ 送信を終了するとき^{しゅうりょう}は、最後に止めた文字の位置からその位置までハンドルを1周させ、そのままさらに回して12時の欄^{らん}で止める。

(1) [会話文]、[電信の創業]、[図]、[方法] の内容としてあてはまるものを、次の

①～⑤の中からすべて選び、その番号を書きましょう。

- ① **【ブレゲ電信機】** の送信機と受信機の文字盤^{ばん}には、同じ配置で同じ文字が書かれている。
- ② ペリーが来航した際、横浜^{よこはま}での実演に使われた電信機は、日本の電信の創業時にも使われた。
- ③ **【ブレゲ電信機】** は操作が簡単なため、わずか1秒間で4～5文字を送ることができた。
- ④ 明治2年の12月に、横浜^{よこはま}裁判所と東京の築地運上^{つきじ}所の間に電線^しが敷かれ、日本ではじめて電信の実験が行われた。
- ⑤ **【ブレゲ電信機】** を使って「テツドウ」を送るときと、「テットウ」を送るときは、どちらも文字の送り方が同じである。

(2) [方法] に従って「カモメR8」を送るとき、送信を始めてから終了^{しゅうりょう}するまでに、ハンドルが[図]の9時の線を通るのは何回か、書きましょう。ただし、ハンドルが[図]の9時の線を通る回数は、最も少ない回数となる場合で考えるものとします。

問2

かなこさんたちは、国産大豆の収穫量^{しゅうかく}について話しています。次の【会話文】を読んで、あとの(1)～(3)の各問いに答えましょう。

【会話文】

- かなこ 「大豆の収穫量^{しゅうかく}に関する資料を参考にして単収の【表】をつくりました。ここでの単収とは、10aあたりの収穫量^{しゅうかく}のことです。」
- じろう 「また、平均収量という【用語】が、参考にした資料にありました。」
- ひかり 「例えば、【表】にある宮城県の令和6年の平均収量を求める場合、宮城県の欄^{らん}から【あ】の値^{あたい}を除いた、5年分の値^{あたい}の平均値を求めるということですか。」
- かなこ 「そうです。では、平均収量をどのように活用できるか、新潟県を例に考えてみましょう。まず、【表】から令和6年の平均収量を求めてください。」
- たろう 「10aあたり【い】kgですね。」
- じろう 「そのとおりです。次に、令和6年の単収^{あたい}の値を【い】で割り、小数第3位を四捨五入して百分率で表してください。」
- ひかり 「計算すると、【う】%になります。これは、令和6年の、平均収量をもとにした単収の割合ですね。」
- かなこ 「そうです。こうすると、平均的な収穫量^{しゅうかく}と比べて、その年の収穫量^{しゅうかく}がどの程度多いか少ないかがわかります。」
- たろう 「なるほど。平均収量の活用方法がわかりました。」
- じろう 「では、平均収量について、もう少し考えてみましょう。」
- かなこ 「【表】の北海道、栃木県、長野県、愛媛県の中に、令和8年の平均収量が令和7年の平均収量を、上回ることがないところと、下回ることがないところが、それぞれ1つずつあります。どこだかわかりますか。」
- ひかり 「【表】からは、令和8年の平均収量が求められません。」
- たろう 「令和8年の平均収量が求められなくても、令和7年の平均収量と比べて上回るか、下回るかを調べればよいのではないですか。」
- ひかり 「なるほど。それでは、令和7年の単収^{あたい}の値が平成30年の単収^{あたい}の値より大きい場合や、小さい場合などで調べませんか。」
- じろう 「そのときに、平成30年～令和6年の7年間の単収^{あたい}のうち、除く値^{あたい}を確かめてから調べるとよいです。」
- かなこ 「そうですね。みんなが言ったことを意識して調べてください。」
- たろう 「そのようにして調べていくと、令和8年の平均収量が令和7年の平均収量を上回ることがないのは【え】ですね。」
- ひかり 「また、令和8年の平均収量が令和7年の平均収量を下回ることがないのは【お】ですか。」
- じろう 「2人とも、そのとおりです。」

〔表〕平成29年～令和6年の大豆の単収 (kg)

	宮城県	新潟県	北海道	栃木県	長野県	愛媛県
平成29年	139	179	245	161	163	119
平成30年	150	168	205	168	172	128
令和元年	137	174	226	152	140	173
令和2年	174	141	239	155	143	155
令和3年	202	190	251	148	149	148
令和4年	133	169	252	187	170	162
令和5年	166	166	255	135	127	187
令和6年	163	162	283	126	142	95

(e-Stat「作物統計調査」より作成)

〔用語〕

平均収量：求めたい年の前年から数えた過去7年間の単収のうち、最も大きい値あたいと、最も小さい値あたいを除いた、5年分の値の平均値。

(1) 〔会話文〕の〔あ〕にあてはまるものを、次の①～⑨の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 平成29年と令和元年と令和4年 | ② 平成29年と令和元年と令和6年 |
| ③ 平成29年と令和3年と令和4年 | ④ 平成29年と令和3年と令和6年 |
| ⑤ 平成29年と令和4年と令和6年 | ⑥ 令和元年と令和3年と令和4年 |
| ⑦ 令和元年と令和3年と令和6年 | ⑧ 令和元年と令和4年と令和6年 |
| ⑨ 令和3年と令和4年と令和6年 | |

(2) 〔会話文〕の〔い〕、〔う〕のうち、〔う〕にあてはまる数を、次の①～⑧の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| ① 90 | ② 93 | ③ 95 | ④ 97 |
| ⑤ 102 | ⑥ 104 | ⑦ 106 | ⑧ 108 |

(3) 〔会話文〕の〔え〕、〔お〕に、それぞれあてはまるものの組み合わせを、次の①～⑨の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① え：北海道 | お：長野県 | ② え：北海道 | お：愛媛県 |
| ③ え：栃木県 | お：長野県 | ④ え：栃木県 | お：愛媛県 |
| ⑤ え：長野県 | お：北海道 | ⑥ え：長野県 | お：栃木県 |
| ⑦ え：長野県 | お：愛媛県 | ⑧ え：愛媛県 | お：北海道 |
| ⑨ え：愛媛県 | お：栃木県 | | |

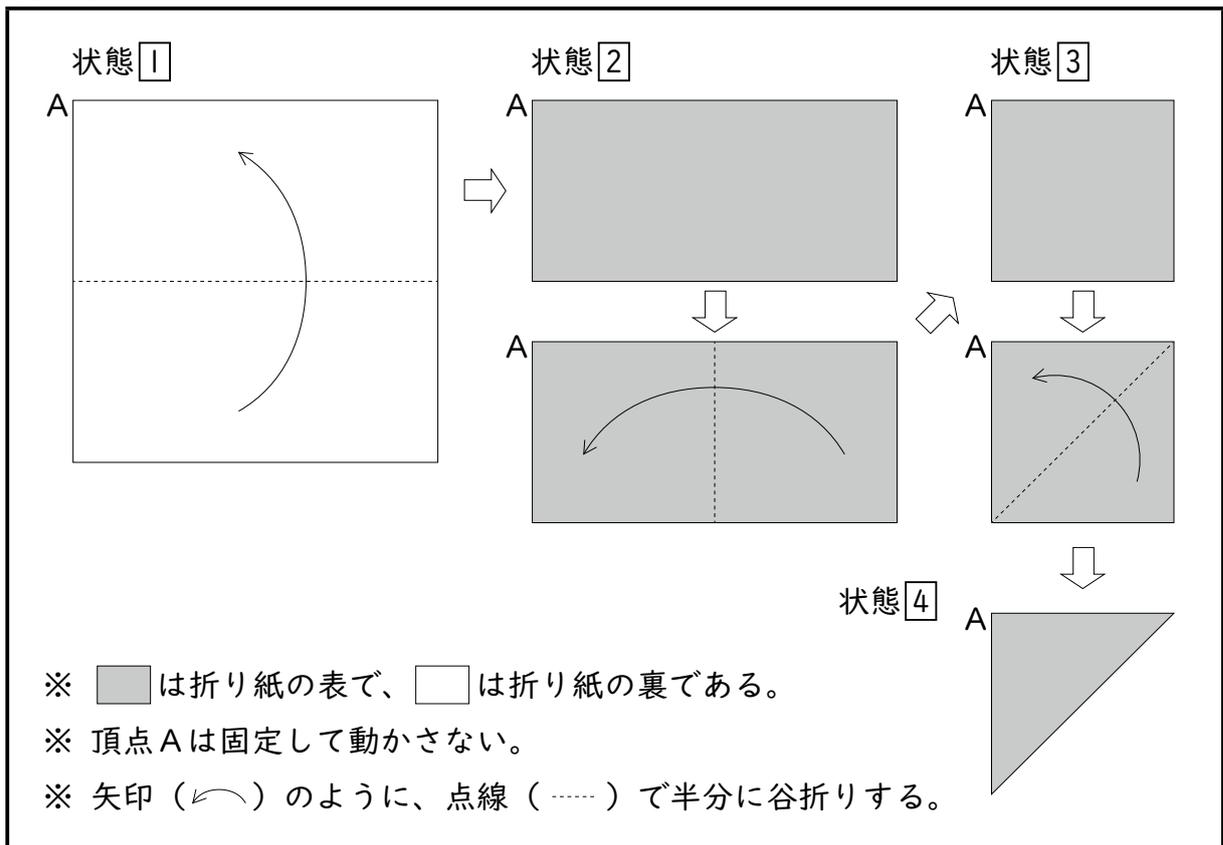
問3

たろうさんたちは、折り紙を使って考えた問題について話しています。次の【会話文1】、【会話文2】を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

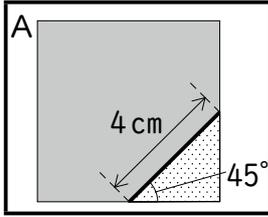
【会話文1】

- たろう 「1辺の長さが12cmの正方形の折り紙を使って、問題を考えましたね。」
 かなこ 「【手順】のように、状態①から状態④まで折り紙を半分に折っていきます。その中で、みんなはどのような問題を考えましたか。」
 じろう 「わたしの問題では、【手順】の状態③に、【図1】のような直線(—)をひきます。折り紙を重ねたままこの直線で切り、の部分を取り除いてから開くと、折り紙の残った部分の面積は何cm²になりますか。」
 たろう 「残った部分の面積は、cm²になります。」
 じろう 「そのとおりです。」
 ひかり 「わたしの問題では、まず【図2】のa~dの中からいくつかを選び、【手順】の状態④に、それぞれの線をかきます。そして、折り紙を重ねたままそれらの線で切り、の部分を取り除いてから開きます。」
 たろう 「そうすると、a~dの選び方によって、折り紙を開いたときの穴の数やでき方がちがいますね。」
 ひかり 「そのとおりです。ただし、【図3】のように端にできたは、穴ではないと考えてください。このように考えると、穴の数が11個になるようにするためには、a~dのどれを選んで切れればよいですか。」
 かなこ 「aとを選んで切れればよいです。」
 ひかり 「そのとおりです。」

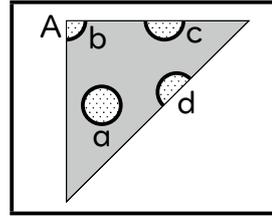
【手順】



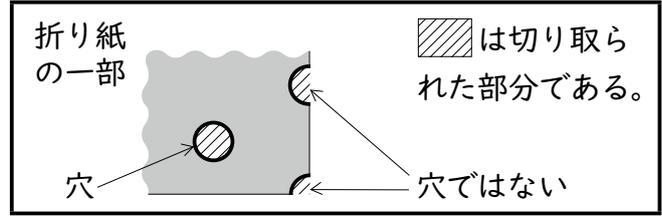
〔図1〕



〔図2〕



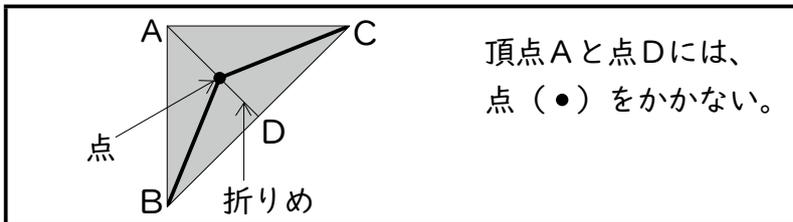
〔図3〕



〔会話文2〕

たろう 「わたしの問題では、〔手順〕の状態〔4〕を〔例〕のようにします。」
 じろう 「折りめは、頂点Bと頂点Cが重なるように折ってつけるのですか。」
 たろう 「そうです。折りめの上に点(●)を1つかき、その点と頂点B、頂点Cを結ぶ直線(—)をそれぞれひきます。そして、折り紙を重ねたままそれらの直線で切って、開きます。」
 かなこ 「そうすると、9つに切り分けられますね。」
 たろう 「そうです。では、その中で、1番大きいものの面積が54 cm²のとき、1番小さいものの面積は何cm²ですか。」
 ひかり 「9つの中には、1番小さいものがいくつありますか。」
 じろう 「そうですね。1番小さいものの面積は、1つ〔う〕cm²ですか。」
 たろう 「そのとおりです。」

〔例〕



(1) 次のア、イの各問いに答えましょう。

ア 〔会話文1〕の〔あ〕にあてはまる数を、次の①～⑥の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① 120 ② 124 ③ 128 ④ 132 ⑤ 136 ⑥ 140

イ 〔会話文1〕の〔い〕にあてはまるものを、次の①～⑦の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① b ② c ③ d ④ bとc ⑤ bとd
 ⑥ cとd ⑦ bとcとd

(2) 〔会話文2〕の〔う〕にあてはまる数を書きましょう。

問4

かなこさんたちは、コンピューターが数を並べ替える仕組みについて話しています。次の【会話文】を読んで、あとの(1)～(3)の各問いに答えましょう。

【会話文】

かなこ 「コンピューターが数を小さい順に並べ替える仕組みを調べましたね。」
 たろう 「はい。その仕組みについて、1～10の数が書かれた10枚の【カード】を【図】で示した10か所の位置a～jに置いて考えました。」
 じろう 「その並べ替え方を【方法】としてまとめましたね。」
 ひかり 「例えば、カードが左から10 9 8 7 6 5 4 3 2 1の順で置かれている場合、【方法】に従って左から数が小さい順にカードを並べ替えるには、はじめに、a bにある10 9で【操作】を行うのですね。」
 たろう 「そうです。まず、左の10が大きいのでカードを入れ替えます。そうすると、次はb cにある10 8で【操作】を行うことになります。そのあとも、h iにあるカードまで左から順に【操作】をくり返します。」
 かなこ 「このようにして並べ替えたiにある10とjにある1で【操作】を終えたところで1巡めの並べ替えが終了し、jに置くカードが決まりますね。」
 じろう 「はい。2巡め以降も【方法】に従って並べ替えを続けて、最終的に左から1 2 3 4 5 6 7 8 9 10の順になります。」
 ひかり 「【問題】で、最初に置くカードが10枚より少ない場合はどうしますか。」
 たろう 「最初に置くカードの枚数が8枚ならhまで、5枚ならeまでと、aから順に必要な位置にだけカードを置いて並べ替えます。」

【カード】

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

【図】

左 a b c d e f g h i j 右

【方法】 左から数が小さい順になるカードの並べ替え方**【操作】**

となり合う2枚のカードに書かれた数の大きさを比べ、左のカードに書かれた数が大きい場合は2枚のカードを入れ替え、そうでない場合は入れ替えないこと。

カードを入れ替えても入れ替えなくても、【操作】を1回行ったとする。

1巡め：a bにあるカードで【操作】を行い、続けてb c、c dと、左から順に【操作】をくり返す。i jにあるカードで【操作】を終えたところで1巡めの並べ替えが終了したとし、1番右のjに置くカードが決まる。

2巡め：再びa bにあるカードから始めて、h iにあるカードまで左から順に【操作】をくり返す。そこまでの【操作】を終えたところで2巡めの並べ替えが終了したとし、すでに置くカードが決まっているjを除いて1番右のiに置くカードが決まる。

3巡め以降も【操作】をくり返し、j、iに続けてh、g、fと、右から順に置くカードを決めていく。bに置くカードが決まったところで、残っている1枚のカードをaに置くことが決まるので、この時点ですべての並べ替えが終了する。

〔問題〕

問題A

10枚のカード①～⑩が、1枚ずつa～jのいずれかに置かれています。最初に、aに①、cに②、eに③が置かれているとき、〔方法〕に従って並べ替えると、cにはじめて③を置くことになるのは、何回めの〔操作〕を行うときですか。

問題B

15枚のカード①～⑮から8枚選び、a～hに左からあ 14 12 10 8 6 4 2の順で置きました。〔方法〕に従って並べ替え、すべての並べ替えが終了したところ、25回カードを入れ替えました。このとき、あかのカードは、①、③、⑤、⑦、⑨、⑪、⑬、⑮のうちどれですか。

問題C

5枚のカード①～⑤が、1枚ずつa～eのいずれかに置かれています。〔方法〕に従って並べ替え、すべての並べ替えが終了したところ、5回めの〔操作〕を行うときだけカードを入れ替えませんでした。このとき、5枚のカードは、最初に左からどの順で置かれていましたか。

(1) 問題Aの答えは何回めか、次の①～⑨の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① 7回め ② 8回め ③ 9回め ④ 10回め ⑤ 11回め
⑥ 12回め ⑦ 13回め ⑧ 14回め ⑨ 15回め

(2) 問題Bの答えはどのカードか、次の①～⑧の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① ① ② ③ ③ ⑤ ④ ⑦ ⑤ ⑨ ⑥ ⑪ ⑦ ⑬ ⑧ ⑮

(3) 問題Cの答えはどの順か、次の①～⑨の中から1つ選び、その番号を答えましょう。

- ① ⑤ ① ② ③ ④ ② ⑤ ① ② ④ ③ ③ ⑤ ② ① ③ ④
④ ⑤ ② ③ ④ ① ⑤ ⑤ ③ ④ ① ② ⑥ ⑤ ③ ④ ② ①
⑦ ⑤ ④ ① ② ③ ⑧ ⑤ ④ ② ③ ① ⑨ ⑤ ④ ③ ① ②

問5

次の文章を読んで、あとの（問い）に答えましょう。

あなたは、神奈川県立中等教育学校の1年生とします。

1学年では、4月に「学年内の交流」をテーマとした学年集会を行うことになり、その中で行うレクリエーションの内容を話し合っ^{ぶく}て決めることになりました。

あなたは、その話し合いでどのようなレクリエーションを提案しますか。その内容を考えましょう。

（問い）次のア、イについて、あなたの考えをそれぞれ20字以上30字以内で書きましょう。なお、書き出しの言葉は、字数には含め^{ぶく}ません。

ア どのようなレクリエーションを提案するか、その内容がわかるように書きましょう。ただし、書き出しの「わたしが提案するのは、」という言葉に続けて書くものとします。

イ アのように提案する理由を書きましょう。ただし、書き出しの「アのように提案する理由は、」という言葉に続けて書くものとします。

※問題は、これで終わりです。

このページには、問題は印刷されていません。

